

第1回

サバイバルChallengeキャンプ

～本当のサバイバルに挑戦しないか～

1日目（8/11）

GRIPアクティビティ

6泊7日の1日目！！最初はみんな緊張していたようでしたが、レクリエーションを通して、徐々に明るく元気な声が聞こえるようになりました。

また、キャンプネームで呼び合えるようになり、班で楽しく活動することができました。



火おこし体験(基礎・基本)

これから6日間野外炊飯をするために、基礎となる火おこしについて学びました。薪割りやファイヤースターターを使用する火おこしなど、初めて体験する子いましたが、マスターすることができました。



ロープワーク

部屋に洗濯物を干すためのロープを結ぶために、「もやい結び」と「よろい結び」を学びました。難しかったようですが、無事に結び方をマスターし、ロープを強くピンと張ることができました。

野外炊飯(基礎・基本)

1日目の夜は、野外炊飯の基礎・基本となるカレー作りをしました。班で役割を決め、協力しておいしいカレーを作ることができました。また、飯盒炊飯は火加減や水の量の調整が難しかったようですが、2日目以降の野外炊飯のために一生懸命学びました。



ふいかえいシートより…

- ・初対面で緊張したが、GRIPアクティビティを通して、キャンプネームを覚え仲良くなることができた。
- ・ロープワークで教わった結び方でロープをうまく結ぶことができた。明日の洗濯体験も頑張りたい。
- ・カレー作りを頑張った。薪割りや焚火など、普段しない経験ができて、大変だったけど楽しかった。

2日目 (8/12)

海浜サバイバルゲーム

海浜サバイバルでは、ポイントをより多く獲得するために、班で作戦を立てるなど協力することができました。獲得した玄海ポイントの使い道を班の皆で話し合い、「玄海ショップ」で景品と交換しました。



食器・カトラリー作り

竹を切って自分だけの食器やカトラリーを作成しました。表面をやすりで削り形を整え、自分が使いやすいように工夫をしました。

「自分の使うものは自力で作る」という体験により、また1歩本当のサバイバルに近づきました。

サバイバルクッキング

朝食は、牛乳パックを使って簡単にできる「ホットサンド」、昼食は「和風おろしうどん」、夕食は竹にまきつけて作る「竹パン」と「ビーフシチュー」を作りました。自分で作った竹食器で食べる夕食は格別でした！



洗濯体験

ビニール袋に重曹を入れ、もみ洗いをしました。洗濯機を使用せず、自分たちで洗濯をするという貴重な経験ができました。

ふいかえいシートより...

- ・海浜サバイバルゲームで、高得点を出せたのでうれしかった。海岸にあんなにゴミが打ちあがっていると思わず、びっくりした。
- ・竹の食器を作るのは大変だったが、その分達成感があった。
- ・竹の香りも楽しめた。
- ・回数を重ねるごとに野外炊飯がうまくなっていると実感した。
- ・手洗いや脱水が大変だったが、自分の力できれいに洗濯できてうれしかった。

3日目 (8/13)

カヌーサバイバルゲーム

カヌーサバイバルでは、1位になれるように班の皆と協力してカヌーを漕ぎました。ほとんどの人が初めての経験でしたが、ひたむきに努力する姿や仲間を励まし、喜び合う姿が見られました。



魚釣り道具作り

松林で自ら選び、採取してきた木の棒に釣り糸をつけ、自分だけの釣竿を作りました。竿の長さや曲がり具合などにこだわりました。4日目の大島での釣り体験に向けて、イメージを膨らませていました。

自作かまど制作

野外炊飯場から離れ、運動広場に穴を掘り、海岸から拾ってきた石を用いてかまどを作りました。自分たちで形を決め、調理のしやすさや、どうすれば崩れないかを話し合い作ることができました。



サバイバルクッキング

朝食は「おにぎりと味噌汁」、昼食は「豚丼」、夕食は「ビーフペッパーライス」と「海藻サラダ」でした。3日目は朝から活動が多く大変でしたが、ご飯をしっかりと食べて元気に活動することができました！

また、失敗しても、それを糧として次へと活かそうとする姿勢も多くみられ、成長を感じました。

ふりかえりシートより…

- ・カヌーサバイバルゲームでは、カヌーの操作が難しく、思うようにいかないこともあったが、班の皆で協力したり、応援したりすることで最後までやり切れた。
- ・広場の地面は硬くて掘りづらかったが、一生懸命かまどを作った。丈夫で使いやすい形にできてうれしかった。
- ・いい釣竿ができたので、明日はたくさん魚を釣りたい。

4日目 (8/14)

釣り体験

フェリーで大島に渡り、うみんぐ大島で釣り体験をしました。自分で作った竿でアジやカサゴを釣り上げた参加者もありました！残念ながら大漁とまではいきませんでしたでしたが、よい経験となりました。

玄海の家から神湊までと、フェリー乗降口からうみんぐ大島までの往復の道を徒歩で移動しました。かなり長い道のりでしたが、頑張って歩き切りました！



魚捌き体験

魚さばきのプロ「サバッキー」から、魚のさばき方を教えてもらいました。魚をさばくのは初めてという参加者がほとんどでしたが、教えてもらったことを意識して3枚におろすことができました。

また、命をいただくことのありがたみを知ることができました。



サバイバルクッキング

4日目は朝食と夕食を作りました。朝食は牛乳パックで作る「ホットドッグ」、夕食は「アジの豆腐ハンバーグ」、「あら汁」、そして釣った魚の素揚げをしました。さばいた魚を余すところなく使い、おいしい料理を作ることができました。自分で釣りあげた魚はやはり格別においしかったそうです！



ふいかえりシートより...

- ・魚が1匹も釣れなかったのが残念だったが、サバッキーの準備してくれた魚で魚をさばくことはできた。上手にさばけてうれしかった。
- ・魚が釣れてうれしかったし、素揚げはとてもおいしかった。また釣りをしたい。
- ・たくさん歩いて疲れたが、さばいた魚でおいしい料理を作ることができてよかった。
- ・初めてフェリーに乗った。景色がきれいで、風が心地よかった。

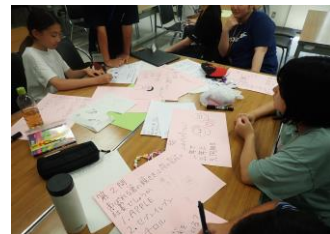
5日目 (8/15)

自由時間

5日目は自由時間がありました。ゆっくり休んだり、班の仲間と遊んだりしました。

また、6日目のキャンプファイヤーの出し物を班で話し合い、準備しました。

これまでの疲れをリフレッシュしつつ、班員の仲をより深めることができました。



チャークロス作り

チャークロスとは、布を入れた缶を熱し、中の布を炭化させて作る着火剤です。これを作ることによって、今まで使っていた麻ひもよりも格段に火をつけやすくなります。

缶から煙が出なくなるまで火にかけました。布に燃え移らないように気を付け、上手に作ることができました！



今日は館内食！

この日は野外炊飯はお休み。皆で玄海の家食堂を利用しました。毎日野外炊飯をしていたので、食事を作ってくれることへのありがたみを感じることができました。



ふいかえシートよい…

- ・今日は3食すべて食堂で食べた。とてもおいしく、たくさんおかわりをした。自分たちで作るごはんもおいしいが、人にご飯を作ってもらうことにととても感謝した。
- ・自由時間でゆっくりしたので体力を回復することができた。また、ほかの班の子とも仲良くなれた。明日以降も交流したい。
- ・明日の出し物の準備をした。誰でも楽しめるような出し物を班で話し合ってた。
- ・チャークロスをうまく作れた。

6日目 (8/16)

テント設営



6日目はいよいよテントに宿泊します。班で男子と女子に分かれ、協力してテントを張りました。また、テントを張る位置も自分たちで決め、安全に注意して作業をすることができました。



サバイバルクッキング



朝食は「インディアンブレット」と「ソーセージ」、「スクランブルエッグ」、昼食は「冷やし中華」、夕食は「鶏肉のガーリック焼き」と「コンソメスープ」を作りました。

インディアンブレットはかなり難易度が高く時間がかかってしまいましたが、感動の出来栄でした。また、夕食は6泊7日の締めくくりということもあり、とてもおいしそうに食べていました。



キャンプファイヤー



キャンプファイヤーは、計画や進行はボランティアの皆さんがすべて考えました。

5日目に班で話し合った出し物をそれぞれ発表しました。なぞなぞや玄海の家職員やボランティアの方についてのクイズ、ソーラン節など、各班の個性があふれるすばらしい出し物でした！

また、キャンプファイヤーのやぐらに使った木は、海浜サバイバルゲームで拾った流木を有効活用しました。



ふりかえりシートより...

- ・テント設営が思っていたより簡単で、安全面に気を付けながら設営ができてよかった。テントで寝るのは緊張するが、楽しみだ。
- ・野外炊飯がうまくできてよかった。今日はいつよりも班で団結して作ることができた。明日の朝が最後の野外炊飯なので、頑張りたい。
- ・キャンプファイヤーの出し物がうまいって、盛り上がった。火もきれいで、皆で楽しめたことがうれしかった。明日の最後まで頑張りたい。

7日目 (8/17)

サバイバルクッキング

7日目の朝食は、「焼きおにぎり」と「味噌汁」、「たくあん」、「ソーセージ」を食べました。

6泊7日の最後の野外炊飯でしたが、班員の動きや手際の良さなど、初日から大きく成長したことを感じ取れました。

テント&野営場撤収



テント泊は緊張していましたが、ぐっすり眠れたようです。起きてすぐにテント撤収の準備をし、食後すぐに片付けをしました。

また、野営場に作った自作かまども撤去し、残った炭なども環境に配慮して後処理をしました。自分たちが使ったものや場所を元の自然の状態に戻すことの大切さを学ぶことができました。

ふりかえり

館内での昼食後、毎日のふりかえりで行っていた「Being」を使って、グループで振り返りを行ないました。この6泊7日を振り返った感想、次のキャンプに向けた想いを1人1人考えました。

皆の前で堂々と発表する姿や表情から、確かな成長と達成感に満ちたたくましさが見られました。



サバイバルChallengeキャンプを通して...

- ・班での自分の役割を考えたり、困っている人がいたら助けるなど、積極的に取り組めた。
- ・やりたくないことも頑張って挑戦することができた。
- ・料理や洗濯、活動に使用する道具など、あることが当然と思っていたが、このサバイバルキャンプを通して、何事も当たり前じゃないことを学んだ。家に帰ったらいろいろなことに感謝したい。
- ・この6泊7日で、たくさんのサバイバルテクニックを学んだ。
- ・今までできなかったことができるようになった。
- ・普段しないこともたくさんした。
- ・学んだことを、冬の2回目につなげたい。
- ・自立する力が高まった。
- ・初対面の人と仲良くなれるか心配だったが、積極的に話しかけることができた。
- ・コミュニケーションの大切さを学んだ。

